法律学演習Ⅲ

科目ナンバリング　SEM-401
必修　　2単位

喜多　康夫

1. 授業の概要（ねらい）

本演習の目的は4つあります。第1に、国際法の基礎知識の習得です。第2に、リーガルマインドの涵養です。第3に、社会への関心の育成です。第4に、学生間の親睦です。

第1点目と第2点目の目標については、国際法の教科書について報告してもらい、教員と学生の間の対話を重視したいと思います。

第3点目については、国際法を学ぶ基礎として世界の動向を知るために、日本経済新聞をゼミで読みます。

また本演習では、第4点目の目的である親睦も重視しています。学生の希望があれば、懇親会を行いたいと思います。また、本年度の3年生については、6月上旬に八王子セミナーハウスでサブゼミ合宿を行います。

2. 授業の到達目標

①国際法の体系を理解する
②基本的な世界の動向を知る。
③論理的に自己の主張を展開できる。

3. 成績評価の方法および基準

（報告や質疑応答などの）授業貢献及び試験により評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
杉原高嶺　『基本国際法（第3版）』　有斐閣
薬師寺公夫・坂元茂樹・浅田正彦・酒井啓亘（編集代表）　『判例国際法（第3版）』　東信堂
条約集についてはまた後日におって知らせしますが、指定する条約集は必須です。

5. 準備学修の内容

教科書をレジュメにまとめてもらい、グループとして報告をしてもらいます。その準備と予習は必要です。

6. その他履修上の注意事項

【関連科目】この法律学演習は国際法のゼミなので、国際法の基礎知識はやはり必要です。そのため、国際法体系の全体構造に関する授業である「国際法Ⅰ（歴史・法源）」、「国際法Ⅱ（主体）」、「国際法Ⅲ（空間）」及び「国際法Ⅳ（秩序維持）」を履修することが望ましいと考えます。また、さらに国際法の専門分野として、「国際組織法Ⅰ／Ⅱ」「国際人権法」「国際安全保障法」「国際経済法I／II」「国際裁判所論I／II」「国際刑事法I／II」なども直接的にも、または間接的にもこのゼミに関連します。

【学生へのメッセージ】学部生時代を振り返れば、一番楽しかった授業は演習でした。ゼミ仲間との議論や親睦は今でもいい記憶です。本演習ではしっかりと勉強してもらいますが、勉強を知的な遊びと感じてもらえると嬉しいです。

質問のある学生は、yaskita@main.teikyo-u.ac.jpにまでメールを送ってください。なお、その場合は表題に「・・・の件」とした上で、氏名及び学籍番号と用件の内容をメール本文に記して送ってください。匿名メールはスパムとして取り扱います。

7. 授業内容

【第1回】　・オリエンテーションと報告決定
　　・日経新聞輪読
【第2回】　・報告の仕方「第1章　国際社会と国際法」
　　・日経新聞輪読
【第3回】　①A班「第2章　国際法規則の存在形態」
　　・日経新聞輪読
【第4回】　②B班「第3章　条約法」
　　・日経新聞輪読
【第5回】　③C班「第4章　国際法と国内法」
　　・日経新聞輪読
【第6回】　④D班「第5章　現代国際法の基本原則」
　　・日経新聞輪読
【第7回】　⑤E班「第6章　国家」
　　・日経新聞輪読
【第8回】　⑥F班「第7章　地球空間の地位」
　　・日経新聞輪読
【第9回】　⑦A班「第8章　個人の地位」
　　・日経新聞輪読
【第10回】　⑧B班「第9章　国際人権法」
　　・日経新聞輪読
【第11回】　⑨C班「第10章　外交・領事関係法」
　　・日経新聞輪読
【第12回】　⑩D班「第11章　国家責任法」
　　・日経新聞輪読
【第13回】　⑪E班「第12章　国際社会における平和の維持」
　　・日経新聞輪読
【第14回】　⑫F班「第13章　武力紛争法」
　　・日経新聞輪読
【第15回】　・授業内試験
　　・日経新聞輪読